

# 令和三年度始業



学校だより  
第60号



文責  
校長 都々木

今年度の始業はすっかり花びらを散らした葉桜が迎えてくれました。毎年、体育館外壁に掲示されるクラス発表の風景は、市内の中学校で唯一クラス替えのある本校ならではの風物詩と言えるでしょう。

一年間、笑顔の絶えない学校生活を送ってほしいと願わずにはいられません。

## 転入職員を（し）紹介

職名	氏名	教科等	担当
主幹教諭	泊 義彦	保体	
教諭	福田 明光	社会	
教諭	矢口 美保子	社会	7組担任
教諭	熊川 智顕	社会	3年担任
教諭	岩本 竜一	英語	3年担任
教諭	神尾 慧	理科	2年担任
講師	野口 莉央奈	家庭	8組担任
事務主幹	中村 久徳		学校事務
校務員	久保 聖穂		校務補助
図書支援員	佐々野 歩美		図書支援
特支援員	浦田 俊行		生徒支援
S・C	川口 尚子	カウンセリング	

## 行事予定

- 二二日 (月) PTA専門部会・学年部会
- 一三日 (火) 新入生歓迎行事(生徒会)
- 一六日 (金) PTA常任理事会・理事会
- 一八日 (日) 家庭の日
- 二〇日 (火) 3年生内科検診
- 二一日 (水) 授業参観
- 二二日 (木) PTA総会・部活動振興会総会
- 二三日 (金) 体育大会予行
- 二五日 (日) 体育大会会場設営
- 二六日 (月) 体育大会(午前) ※雨天26日
- 二九日 (木) 振替休業日
- 二九日 (木) 昭和の日

## 子どもに伝えたい「いい言葉」

妥協なき正義で  
人を傷つける

仲畑流万能川柳(毎日新聞)より

「正義」とは耳ざわり良い言葉ですが、一方の正義が、必ずしも他方の正義とは限りません。正義は他人に押しつけるものではなく、自身が貫くものなのでしょう。正義は、荒ぶる声ではなく小さな声で話す方がよい。

(雑感) 始業式で清家直子さんの話をした。坂村真民の詩集にあったものを引用したものだ。一部を紹介したい▼直子は全身関節炎で十年以上寝たきり。自由に動かせず、左手の親指のみ。医者から見放され、直子も自分を捨てていたが、ある日ふと考えた。「なにかわたしでもできることはないか」▼直子は本を点字に点訳することを始めた。こつこつ、何年も。点訳した本が百冊を越え、多くの光を失った人たちに光を与え、動くようになっていった▼人手も少しづつ動くようになり、一人きりで寝ていた彼女に、手紙が来るようになり、訪ねて来る人ができ、寝返りもできなかつたのにベッドで起き上がれるようになり、あつたかい日には、ころころ転がって座敷まで出るこつこつできるようになった▼「なにかわたしでもできることはないか」と考え、こつこつ続けた小さなことが、直子の人生を大きく変えた▼清家直子さんについて詳しく知りたいと思ひ、本を探したが見つからない。どなたかご存じないだろうか▼坂村真民もよい。母が苦しい時、念仏のように唱えていたという「念ずれば花ひらく」を、八字十音の真言として胸に抱き続けたという。